

令和6年度1学期始業式 式辞

校長 黒岩 寛

私の親しい同期に、農業を教えている I 先生がいます。(姫路セントラルパークで飼育係(ヒョウに2度かまれたことが自慢)をつとめた後、北海道の酪農大学へ進学して教師になった、異色の人物)

その彼と春休みに久しぶりに会ったときのこと、世間話から I 先生に「黒岩先生、人間はサルから進化したのではなく、同じ祖先から人間とサルに分かれて進化したことを知っていますか?」と聞かれました。

私:「知らなかったわ」 I 先生:「じゃあ、どうして同じ祖先からサルと人間に分かれたか解りますか?」

私:「わからんなあ、なんで?」

彼の話をまとめると、もともと我々の祖先は遠い昔、森の中に住んでいた。森には木ノ実などの食べ物があり、木の上にいれば猛獣に襲われる心配も無く安全です。しかし、森の外に広がる草原の世界がどうなっているのか知りたいと考える者がいました。草原は食料も少なく、猛獣に襲われるかも知れません。その危険を覚悟して未知の世界である草原に出ていった者が人間へと進化し、森に残った者がサルとなった。だから人間には“知りたい”という気持ちの前には、危険や困難もかえりみず挑戦する本能があり、サルには無い。

それを『知的欲求』と呼び、冒険心や勉強して色々なことを“知りたい”という欲求が我々の中にはある。と I 先生は言うのです。

I 先生:「黒岩先生、最近サルになってませんか?」 私:「それ、どういう意味・・・」

皆さんの本能には、知らないことを知りたい、学びたい、新しいことに挑戦したいという知的欲求があるのです。新学期ですこの知的欲求を目一杯に活かして、知らないことを学び、新しいことに挑戦してってください。

※進化については諸説あります。